



2010年3月期 決算説明

2010年5月11日

 古河スカイ株式会社



＜本日の内容＞

1. 2010年3月期(2009年度)決算概要
2. 2011年3月期(2010年度)業績見通し
3. 経営戦略 —今後の方向性—



1. 2010年3月期(2009年度) 決算概要



2009年度 決算のポイント

■売上数量

上期の飲料用缶材の減、店売り及びIT関連向けの回復遅れなどにより、前年同期比約5%減

⇒ 但し、売上数量；上期 → 下期は約14%増と、全分野で回復

■営業利益

燃料・副原料価格安定 (+37億円)

経費削減効果(緊急施策を含む) (+24億円)

08/下 相場急落による地金ポジション悪化影響の残り
(▲46億円)

■当期純利益

繰延税金資産の回収可能性の見直し (+27億円)



2009年度業績(対前年度)

<連結>

(単位:億円)

	08年度 (A)	09年度 (B)	増減 (B) - (A)	増減率(%) (B-A) / (A)
売上高	2,286	1,856	▲430	▲19%
営業利益	8	6	▲3	▲31%
経常利益	▲6	▲7	▲1	-
当期純利益	▲115	▲8	107	-

<個別> (ご参考)

(単位:億円)

	08年度 (A)	09年度 (B)	増減 (B) - (A)	増減率(%) (B-A) / (A)
売上高 (数量)	2,010 (407千トン)	1,607 (388千トン)	▲403 (▲19千トン)	▲20% (▲5%)
営業利益	▲5	0	6	-
経常利益	▲16	▲9	7	-
当期純利益	▲114	▲5	109	-

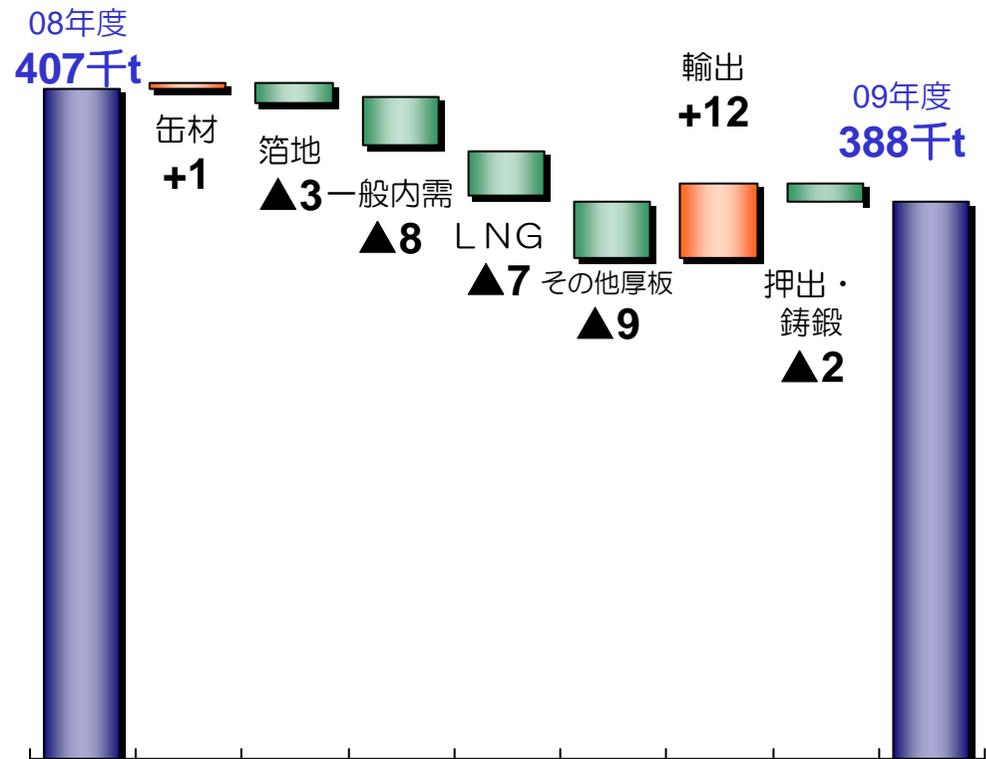


2009年度 品種別売上数量比較(対前年度)

(単位:千トン)

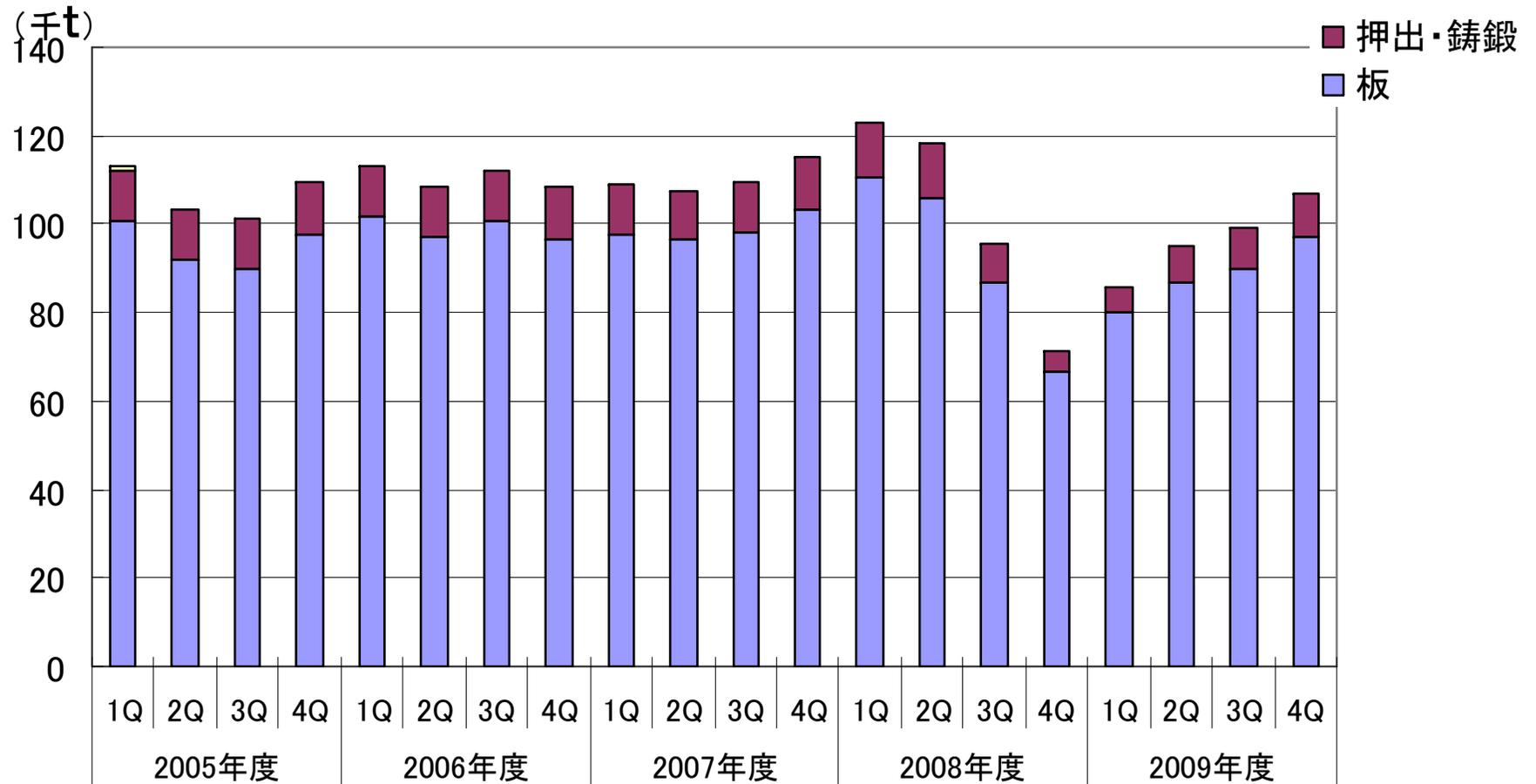
品 種		08年度	09年度	前年同期比	
板	缶 材	112	113	100.9	
	箔 地	36	33	91.7	
	一 般 内 需	123	115	93.5	
	厚 板	LNG	12	5	41.7
		その他	30	21	70.0
	輸 出	57	69	121.1	
計		370	355	95.9	
押 出 計		34	32	94.1	
鑄 鍛 計		2	2	100.0	
総 合 計		407	388	95.3	

09年度売上数量増減内訳(対前年度▲19千t)





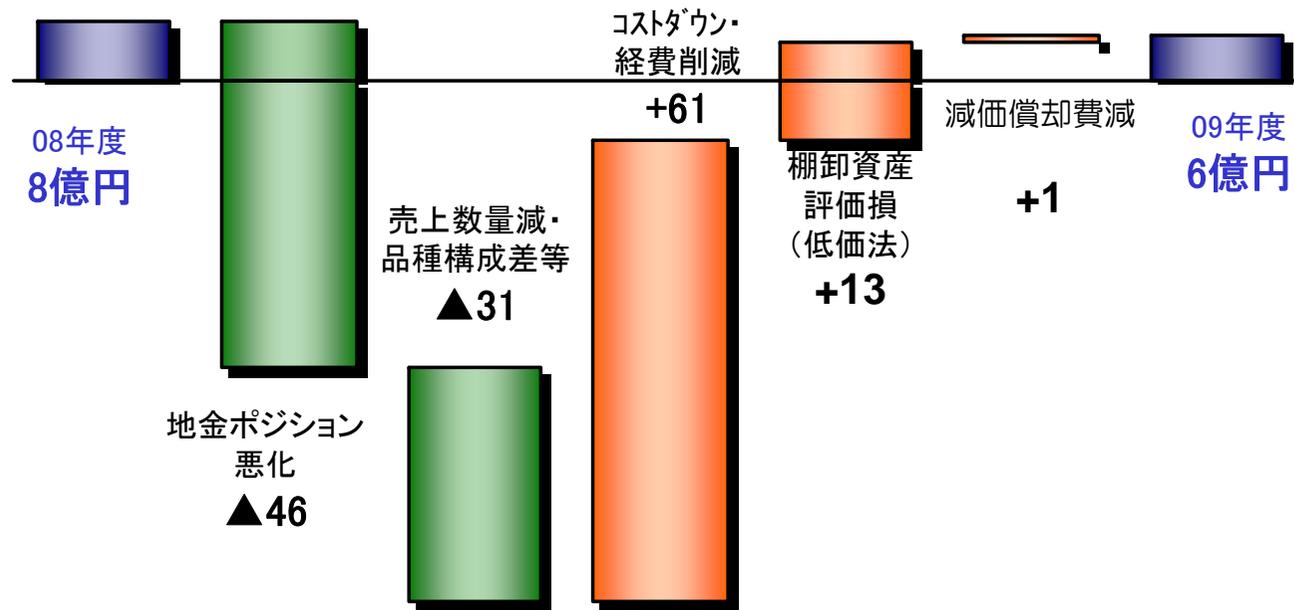
数量推移 (2005年度～2009年度)





連結営業利益分析 (08年度→09年度)

08年度→09年度連結営業利益 増減内訳 (▲2億円)





貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	09/3末	10/3末	増減
流動資産	795	892	97
現金・預金	36	42	6
受取手形・ 売掛金	401	583	181
棚卸資産・ 前渡金	272	210	▲63
その他	86	58	▲28
固定資産	1,141	1,109	▲32
有形・無形固定資産	1,086	1,002	▲84
投資その他の資産	55	107	52
資産合計	1,936	2,002	65

	09/3末	10/3末	増減
流動負債	845	857	12
支払手形・買掛 金・ 未払金・未払費用	430	518	88
短期借入金・一年以 内返済長期借入金・ 社債	354	328	▲26
その他	62	11	▲51
固定負債	524	549	24
長期借入金・社債	374	404	30
その他	150	145	▲5
自己資本合計	550	591	41
少数株主持分	17	5	▲12
負債・総資本合計	1,936	2,002	65

有利子負債残高	728	732	4
----------------	------------	------------	----------



連結主要経営指標

	08年度	09年度
売上高営業利益率	0.4%	0.3%
自己資本比率	28.4%	29.5%
ROE	▲17.7%	▲1.3%
D/Eレシオ	1.3	1.2

(ご参考)

自己資本比率＝〔純資産(期末)－少数株主持分〕／総資産(期末)

ROE＝当期純損益／〔純資産(期末平均)－少数株主持分(期末平均)]

D/Eレシオ＝有利子負債残高(期末)／〔純資産(期末)－少数株主持分(期末)]



2. 2011年3月期(2010年度)

業績見通し



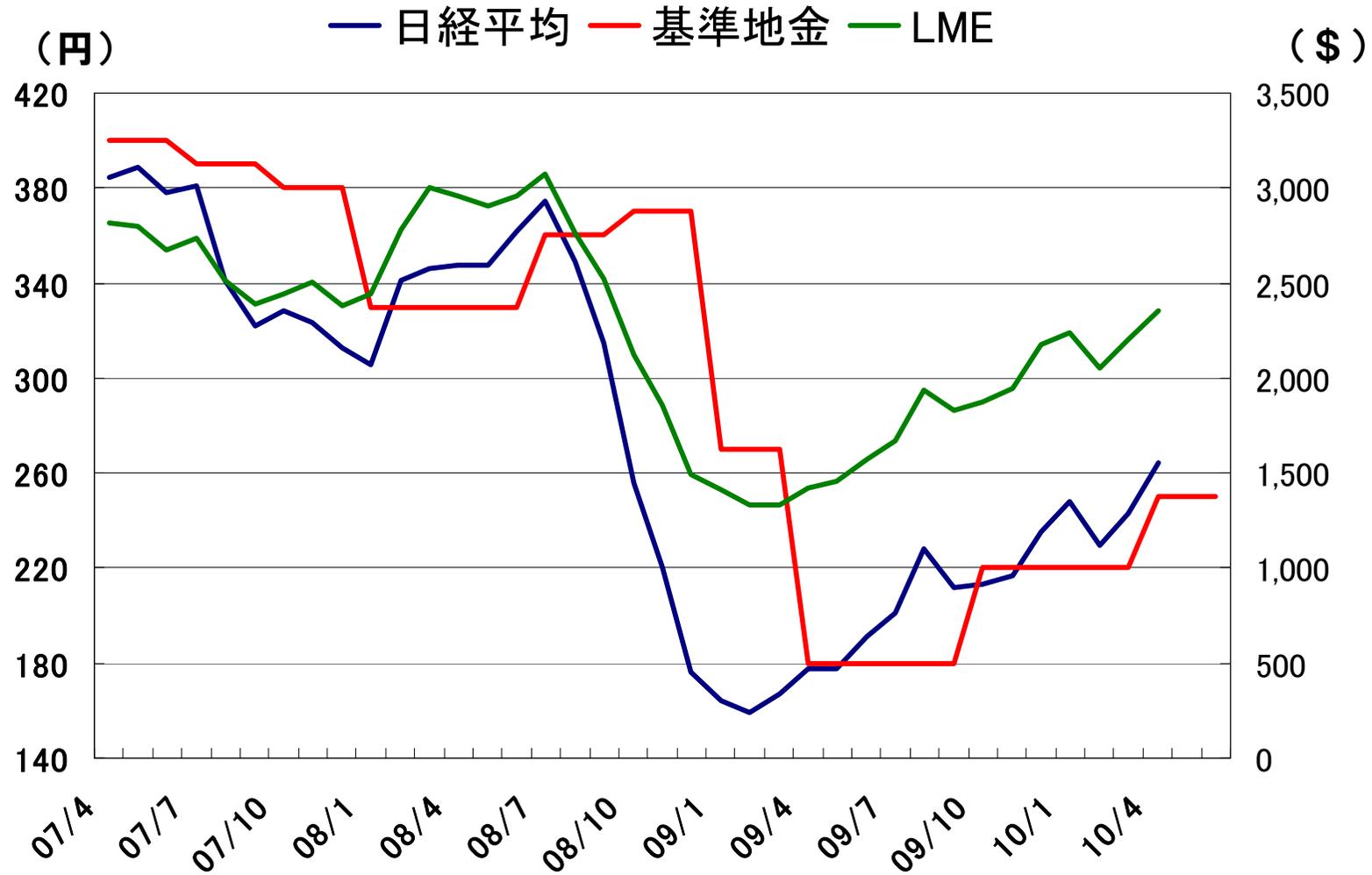
2010年度 業績見通しのポイント

■ 2010年度の見通し

- ・景気の緩やかな回復とともに、全般的に売上数量も回復すると想定
- ・但し、マーケット全般に不透明感は依然残る
- ・中国をはじめとする成長著しい海外マーケットへの対応強化



アルミ地金日経平均、基準地金、LME推移





2010年度業績見通し

<連結>

(単位:億円)

	09年度 (A)		10年度見通し (B)			増減 (B) - (A)	増減率(%) (B-A) / (A)	
	上期	下期	上期	下期				
売上高	1,856	854	1,002	1,915	971	944	59	3%
営業利益	6	▲57	63	80	40	40	74	1,299%
経常利益	▲7	▲64	58	72	36	36	79	-
当期純利益	▲8	▲84	77	61	29	32	69	-

<個別>

(単位:億円)

	09年度 (A)		10年度見通し (B)			増減 (B) - (A)	増減率(%) (B-A) / (A)	
	上期	下期	上期	下期				
売上高 (数量)	1,607 (388千トン)	737 (181千トン)	870 (207千トン)	1,672 (405千トン)	858 (210千トン)	814 (195千トン)	65 (17千トン)	4% (4%)
営業利益	0	▲54	55	64	34	30	64	21,233%
経常利益	▲9	▲58	50	54	30	24	63	-
当期純利益	▲5	▲80	75	48	25	23	53	-

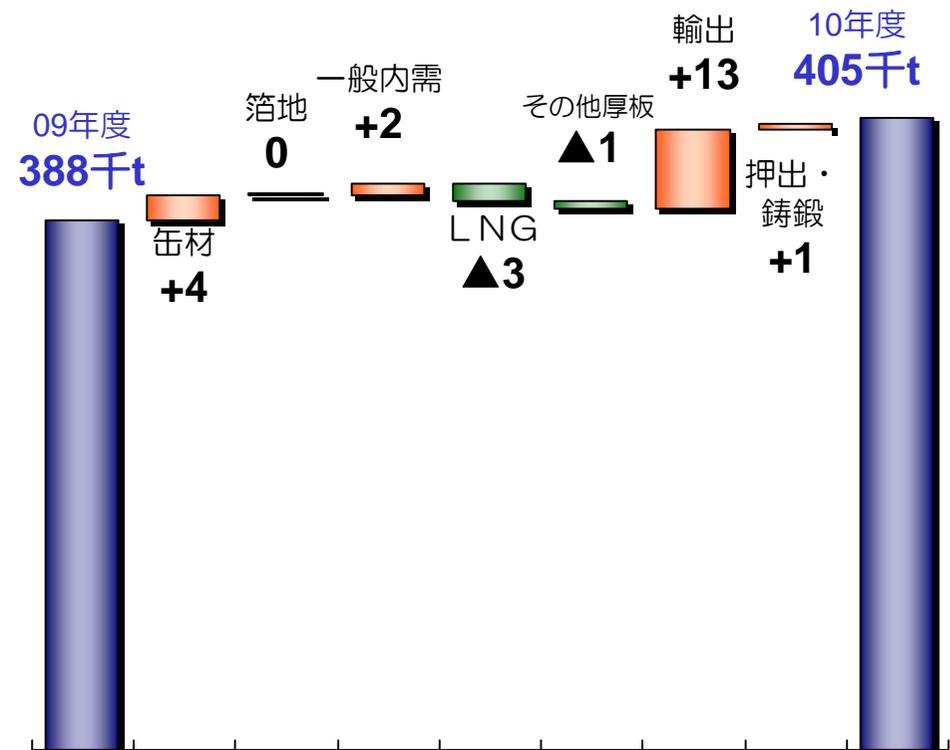


2010年度 品種別売上数量見通し

(単位:千トン)

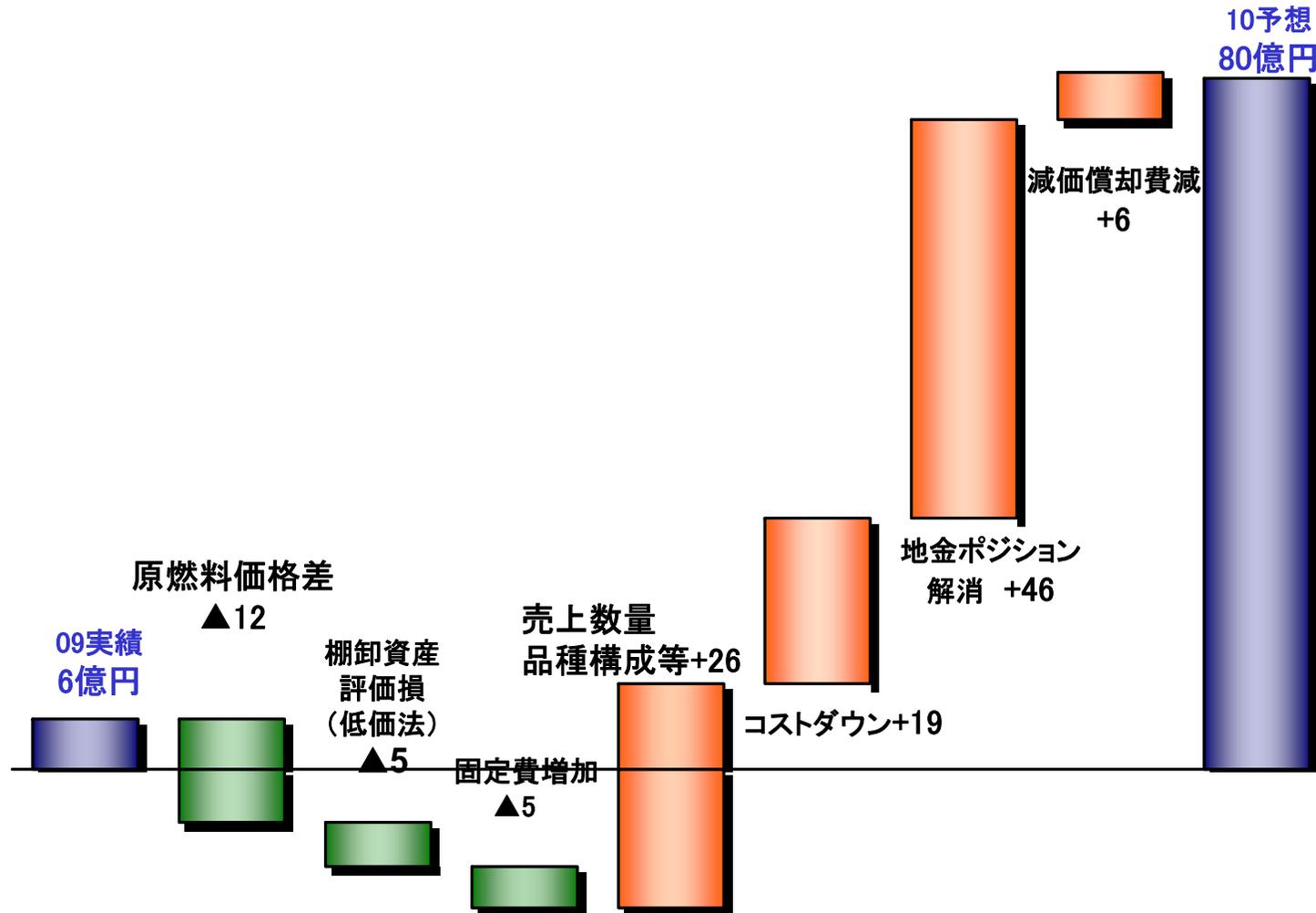
品 種	09			10		
	上	下	計	上	下	計
缶 材	60	53	113	65	52	117
箔 地	16	17	33	16	17	33
一 般 需	52	62	115	58	58	117
厚 板	LNG	3	2	0	2	2
	そ の 他	8	13	11	9	20
輸 出	28	40	69	43	40	82
計	167	188	355	193	178	371
押 出 計	14	18	32	16	17	33
鑄 鍛 計	1	1	2	1	1	1
総 合 計	181	207	388	210	195	405

09→10年度売上数量見通し増減内訳 (前年同期比+17千t)



連結営業利益分析 (09年度→10年度見通し)

2009年度→2010年度連結営業利益予想 増減内訳 (対前年+74億円)





3. 経営戦略

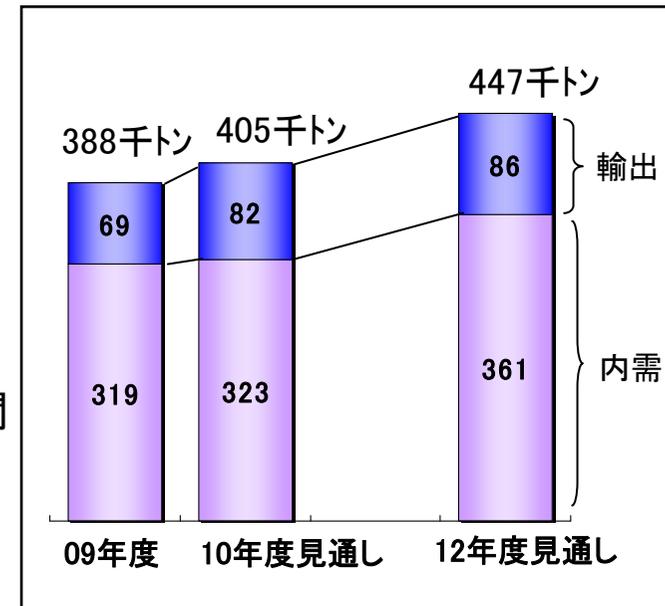
— 今後の方向性 —

① 売上数量の拡大

(2010→2012年度 +42千トン)

国内—全需要分野でのさらなる回復の見込み

海外—中国はじめ成長著しい海外マーケットへの対応強化
 缶材、印刷板、自動車熱交材等得意分野を積極展開



② 構造改革、原価低減努力の推進

(2010→2012年度 ; 約26億円)

・板事業構造改革の実施 … 日光工場上流工程の休止、カラーアルミ事業の改革

→ 2012年度 効果顕現 9億円

・工場集約(前中期計画)によるコストダウン効果の実現

・原価低減努力

→ 17億円



③新マーケットへの事業展開

<電池分野(LIB)>

- 車載用LIB向 集電体用箔、外装用箔の拡販、および高性能次世代製品開発による事業展開の拡大
日本製箔(株)完全子会社化により、箔地～箔製品までの一貫した製品開発、製造技術体制の構築

<電気自動車(EV)>

- 技術シーズからの新製品開発、新規用途開拓の推進
EVのユニット(バッテリー、モーター、インバーター、エアコン等)関連部材の製品開発、用途開発を強化



④グローバル展開ー 1

<中国 乳源・陽之光の強化>

- 技術協力の強化により、マーケットシェア拡大、および企業価値を向上。当社からの技術供与により、自動車熱交換器用材料生産に着手、中国内外の顧客向けに販売を開始予定

<タイ国に100%出資のコイルセンター設立>

- FURUKAWA-SKY ALUMINUM(THAILAND) CO.,LTD.
今後さらなる伸びが期待される東南アジア・インド地域の自動車関連需要に対応

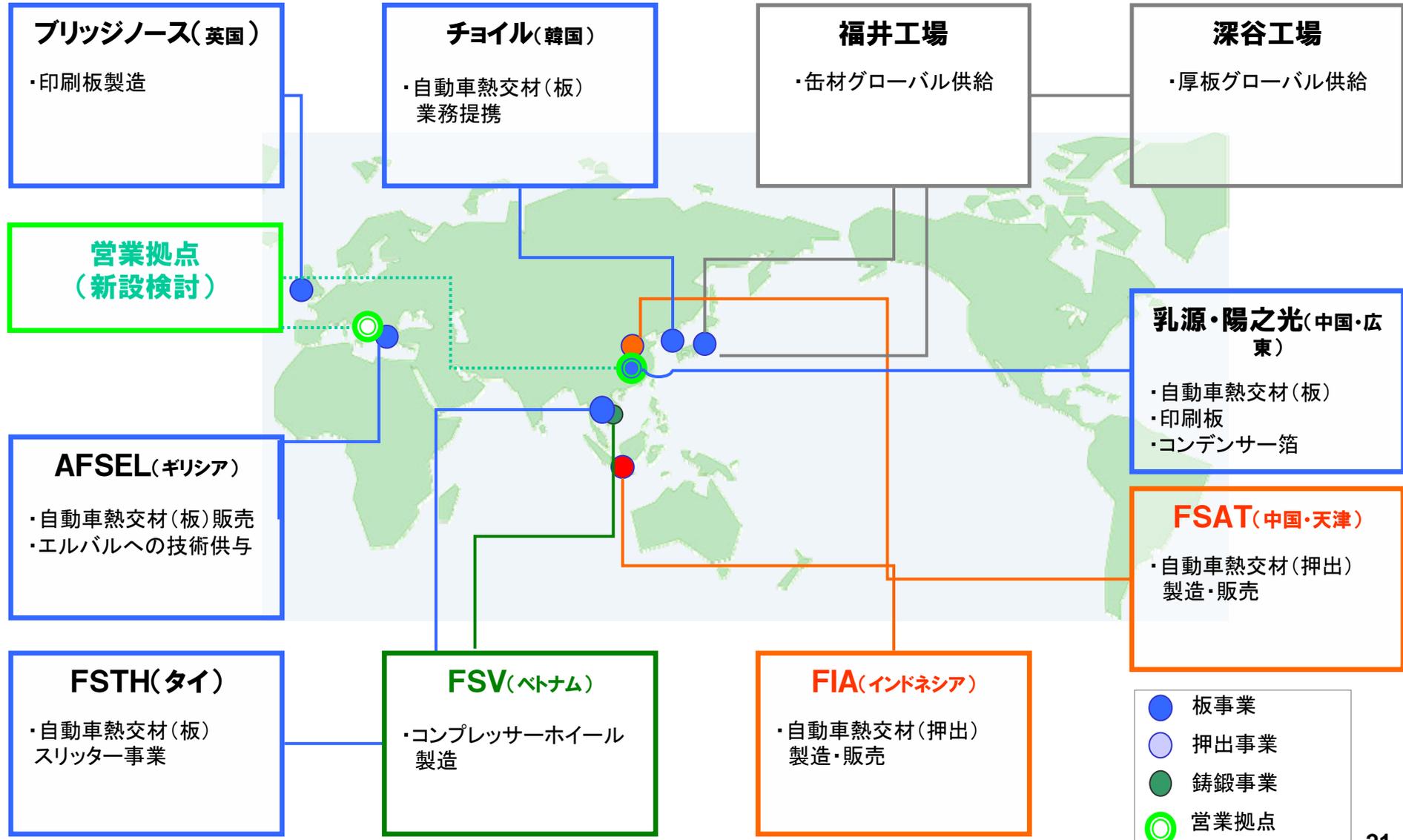


<営業拠点の整備>

- グローバルマーケット拡大に応じ、中国・欧州等で情報収集、営業活動のための拠点設置



④グローバル展開 - 2





■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3800 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)